

CLOSE UP

京滋の 元気企業

「不動産業全般+α の事業展開」

(有)コード・コーポレーション



小堂 社長

京都市中京区で不動産売買を主体に行うコード・コーポレーション。近年では不動産売買に加えてコインパーキング事業や不動産コンサルティング事業など、一般的な不動産業+αの事業展開によって更なる事業拡大を目指している。同社代表取締役社長の小堂氏に話を聞いた。

—— 設立からの経緯を

平成15年8月の設立以来、不動産売買を主体に不動産業を行っています。設立当初は自宅を事務所兼用としていましたが、平成21年6月には店舗をオープンして間口を広げました。また、同年からは遊休地を利用したコインパーキング事業「コードパーク」の運営を開始し、不動産売買を軸に仲介・賃貸など不動産業全般のサービスを展開しています。最近では、小回りの利く体制を活かして「不動産コンサルティング」事業に力を入れています。

—— 不動産コンサルティングとは、 どのようなものですか？

一言で言えば、権利関係が複雑な物件の売買交渉などを行います。例えば、借地・借家を所有する地主様が土地の売却を行いたい場合、既にその物件を賃借している方がいると、売却までには複雑な権利交渉が必要となります。そういった物件では、強引に話を進めることで、トラブルに発展するケースも少なくありません。そこで、不動産コンサルティング技能者登録【登録番号(3)第23049号】を受けている当社がコンサルタントとして、お客様の代わりに権利交渉や手続きを進めていきます。

特に京都市内では、昔からの権利関係が今も続いているため土地と建物の所有者が違うといったケースも多く、多方面のお客様から相談をよくいただきます。当然ながら、そういった物件の売却などを行うには双方の話を聞き慎重に話を進める必要があります。そのため、大手不動産業者では敬遠する向きが強く、当社のような小規模でも小回りが利く企業が力を発揮できる場になるのです。

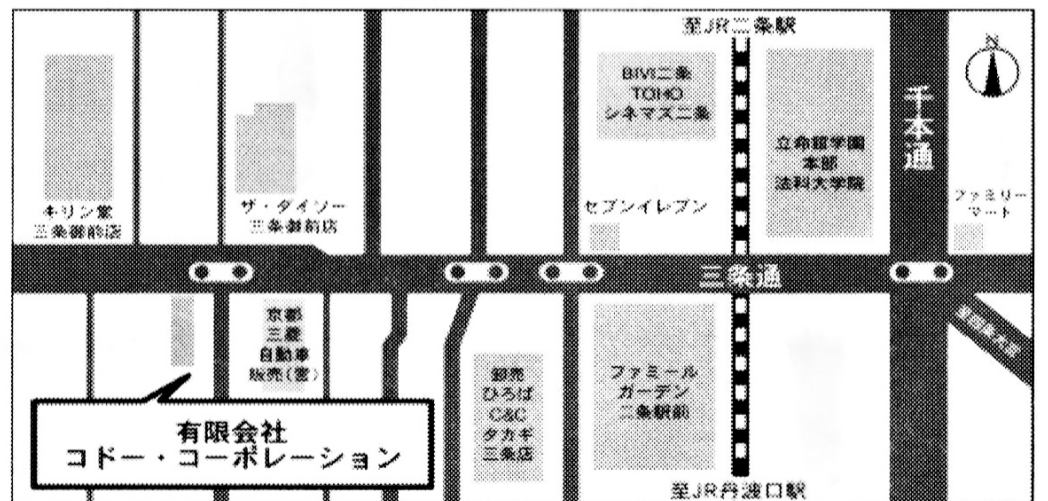
—— 今後の展開は？

主軸である不動産売買は、一般的な案件に加えて不動産コンサルティング案件の実績を増や

していき、またこれまでと同様に不動産仲介、自社テナント物件の不動産賃貸、遊休地を利用したコインパーキング事業など、不動産関連全般のサービスを行い、各事業のバランスをとりながら事業を進めていきます。

不動産業界は今も営業面や契約時の強引な交渉が原因でトラブルとなるシーンが多いため、段階を重ねた地道な交渉と適正なサービス価格によって、お客様からの信頼獲得に努めていきます。

不動産売買を主体に不動産関連全般のサービスを行うコード・コーポレーション。小規模ながら堅実に事業を進め、今期(平成25年5月期)は設立第10期を迎えている。今後も、更なる事業拡大を目指す当社に期待がかかる。



営業時間：10：00～18：00
定休日：日曜祝日

(京都支店 調査2部 森安 智史)

会社概要

事業内容：不動産業

所在地：京都府京都市中京区
壬生神明町1-16

資本金：300万円

設立：2003年(平成15年)8月

TDB企業コード：21-400591-7